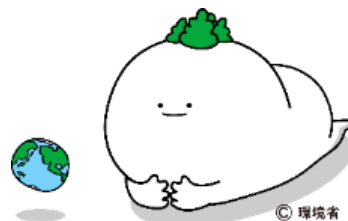


# 令和 6 年度 行動変容WGの活動方針について



「ネイチャーポジティブ」イメージキャラクター  
だいだらぽじー  
DAIDARAPOSIE

ご利用はコチラ→



# 生物多様性国家戦略2023-2030の枠組 基本戦略4

「2050年自然共生社会」「2030年ネイチャーポジティブ」の実現に向け、5つの基本戦略、基本戦略ごとの状態目標（あるべき姿）・行動目標（なすべき行動）、個別施策を各行動目標に紐づけることで、戦略全体を一気通貫で整理するとともに、進捗状況を効果的に管理

## 第1部 戦略

2050年ビジョン『自然と共生する社会』

2030年に向けた目標：ネイチャーポジティブ（自然再興）の実現

### 基本戦略1 生態系の健全性の回復

#### 状態目標（3つ）

- 生態系の規模と質の増加
- 種レベルでの絶滅リスク低減
- 遺伝的多様性の維持

#### 行動目標（6つ）

- 30by30
- 自然再生
- 汚染・外来種対策
- 希少種保全
- 等

### 基本戦略2 自然を活用した社会課題の解決（NbS）

#### 状態目標（3つ）

- 生態系サービス向上
- 気候変動とのシナジー・トレードオフ緩和
- 鳥獣被害の緩和

#### 行動目標（5つ）

- 自然活用地域づくり
- 再生可能エネルギー導入における配慮
- 鳥獣との軋轢緩和
- 等

### 基本戦略3 ネイチャーポジティブ経済の実現

#### 状態目標（3つ）

- ESG投融资推進
- 事業活動による生物多様性への配慮
- 持続可能な農林水産業の拡大

#### 行動目標（4つ）

- 企業による情報開示等の促進
- 技術・サービス支援
- 有機農業の推進
- 等

### 基本戦略4 生活・消費活動における生物多様性の価値の認識と行動

#### 状態目標（3つ）

- 価値観形成
- 消費活動における配慮
- 保全活動への参加

#### 行動目標（5つ）

- 環境教育の推進
- ふれあい機会の増加
- 行動変容
- 食品ロス半減
- 等

### 基本戦略5 生物多様性に係る取組を支える基盤整備と国際連携の推進

#### 状態目標（3つ）

- データ利活用・様々な主体の連携促進
- 資金ギャップの改善
- 途上国の能力構築等の推進

#### 行動目標（5つ）

- 基礎調査・モニタリング
- データ・ツールの提供
- 計画策定支援
- 国際協力
- 等

## 第2部 行動計画

5つの基本戦略の下に25ある行動目標ごとに、関係省庁の関連する施策を掲載

関連施策からビジョンまで一気通貫で整理

基本戦略

状態目標

行動目標

関連施策

# 生物多様性国家戦略2023-2030 基本戦略4に関する記述

## 【状態目標】

- 4-1 教育や普及啓発を通じて、生物多様性や人と自然のつながりを重要視する価値観が形成されている
- 4-2 消費行動において、生物多様性への配慮が行われている
- 4-3 自然環境を保全・再生する活動に対する国民の積極的な参加が行われている

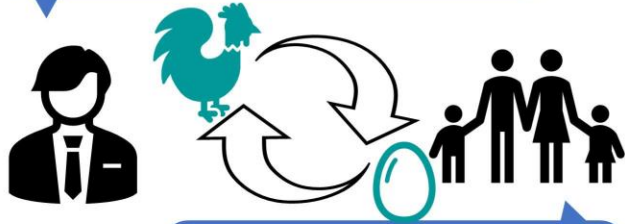
## 【行動目標】

- 4-1 学校等における生物多様性に関する環境教育を推進する
- 4-2 日常的に自然とふれあう機会を提供することで、自然の恩恵や自然と人との関わりなど様々な知識の習得や関心の醸成、人としての豊かな成長を図るとともに、人と動物の適切な関係についての考え方を普及させる
- 4-3 国民に積極的かつ自主的な行動変容を促す
- 4-4 食品ロスの半減及びその他の物質の廃棄を減少させることを含め、生物多様性に配慮した消費行動を促すため、生物多様性に配慮した選択肢を周知啓発するとともに、選択の機会を増加させ、インセンティブを提示する
- 4-5 伝統文化や地域知・伝統知も活用しつつ地域における自然環境を保全・再生する活動を促進する

# 生物多様性の主流化に関する当面の目標と戦略

## 変えたい現状

- ・ニーズが無いから
- ・高く買ってくれないから
- ・どうせ分かってもらえないから



- ・売ってないから
- ・あっても高いから
- ・何が良いか分からないから

それって本当ですか？

## 環境省での主な事業内容

企業の行動変容支援

- ・ NPE戦略策定
- ・ 情報開示支援
- ・ 技術実証
- ・ ビジネスマッチング

国内の緑への価値づけ

- ・ 保全活動認定の法制化
- ・ 支援証明書構築
- ・ 自然資本の経済価値評価

## 行動変容WGでの活動内容

企業が使えるデータの提供

環境省事業例

- ・ (R4) 支払意思額調査
- ・ (R5) ECサイト購買行動実証
- ・ (R5) 消費行動ロジックモデル構築事業
- ・ (R6) R5ロジックモデル構築事業を活用したフィールド実証

WG委員研究事例

- ・ 自然観察行為へのモチベーション付けに関する調査  
(佐々木委員、久保委員、藤木委員)

※環境省事業/WG委員の個人研究として実施し、行動変容WGに話題提供されるものも含む。

平行して

- ・ 実践例のナラティブな共有  
(他分野との組み合わせ)
- ・ 過去の研究事例の整理

鶏からでも卵からでもアプローチできる！

メーカー、小売店、広告代理店、教育関連企業etc.

WGでtips整理・共有

実践結果をWGにフィードバック

## J-GBF構成員、NP宣言団体の皆様にお願ひしたいこと

個々のノウハウ・ネットワークを生かした、個人/個別企業等への働きかけ



“あなた”は、どう思いますか？

“やってみる”仲間づくり



NPのボタン、一緒に押してみない？

だいだらポチっと



# キャンペーンのお知らせ

- 本年7月以降に、①昼の余剰電力需要の創出②家庭系廃食用油の資源回収促進③ネイチャーポジティブ製品の市場活性について、行動変容に繋がるキャンペーンを展開することを考えています。本キャンペーンにご関心のある方は事務局へご連絡ください。

## ①昼の余剰電力需要創出キャンペーン（カーボンニュートラル）

- 余剰な再エネ電力の有効活用に向けた、昼への電力利用シフトを促すキャンペーンを実施します。
  - 再エネの導入拡大が進む一方、出力制御が増加傾向にあり、昼に使用しきれない“余剰な再エネ電力”が発生しています。
  - 余剰電力を無駄にしないためには、昼の電力需要を創出（昼にシフト）することが重要。

⇒行動変容型・機器制御型 DRの実施・昼の電力利用による生活者の利益・利便性の発信などを行うキャンペーン

## ②家庭系廃食用油の資源回収促進キャンペーン（サーキュラーエコノミー）

- 家庭系廃食用油の有効活用を目的とした回収を促すキャンペーンを実施します。
  - 9割程度（およそ9万t）が廃棄されてしまっていると言われている家庭系廃食用油の有効活用
  - 14万tともいわれるGHG排出量削減ポテンシャルを活かすことによる、将来のCO<sub>2</sub>排出量削減への貢献

⇒回収拠点の拡大・可視化・発信・インセンティブを活用した行動変容を促進するキャンペーン

## ③ネイチャーポジティブ製品の市場活性キャンペーン（ネイチャーポジティブ）

- ネイチャーポジティブに資する製品・サービスの市場活性を目的とするキャンペーンを実施します。
  - R6年3月29日環境省、農林水産省、経済産業省、国土交通省にて「ネイチャーポジティブ経済移行戦略」を策定
  - 需要側の視点：どれがNP商品なのか？どこに売っているのか？どんなメリットがあるのかわからない
  - 供給側の視点：どういった製品のニーズがあるのか？

⇒売り場と連携をしたネイチャーポジティブ製品の可視化・情報提供による消費選択を促すキャンペーン

# R5 環境省生物多様性主流化室施策の実施結果報告

## ○因果分析を用いた行動変容手法の分析

生物多様性の保全に資する商品の消費選択に与える要素を特定し、その因果関係を分析し、今後の介入実験の手法を検討

## ○ECサイトと連携した生物多様性に配慮した消費行動の調査

ECサイトと連携し、昨年度の販売データとも比較検証しながら、「生物多様性に配慮した商品」（ECサイトにて選定）の販売数・売り上げ傾向及び購入者層の分析。また、該当商品における購入目的等を調査し、今後需要が期待される環境配慮型の商品の提案

## ○小売店等と連携した情報発信

森里川海アンバサダー※が、小売店に勤務する従業員等を対象にしたワークショップを実施し、環境に配慮した取組及びこれからのサービス等を考え、意識の変容を調査。一定期間、従業員発案手法にて情報発信するほか、来店者へ環境意識に対するアンケートを実施し、小売店及び従業員から消費者へ行動変容を促すための情報収集を行う。

## ○学生、若年層を対象としたwebアンケート実施

就職活動における企業選択等において、生物多様性・環境等への配慮・貢献をしている企業への志向度を調査

## ○行動変容に関する過去の知見整理、事例集の作成

Behavior Change For Natureを中心に、行動変容に関する研究・実践事例を整理

※森里川海アンバサダーについて

「つなげよう、支えよう、森里川海プロジェクト」（2014年12月に始動。自治体や民間企業など約720団体が賛同。）をサポートしていただくため、各方面で活躍し、高い情報発信力を持つ方を「森里川海アンバサダー」として任命しています。（現在31名）

# R6 行動変容WG 実施内容

**行動変容WG** マルチステークホルダーによる、ナッジやポイント制度等を活用した、市民や企業等の行動変容を促す取組を議論・検討する会議体  
⇒企業目線での消費者・生活者行動変容tips（みんなが活用できる素材PPT等）を作成し、行動変容WG参加者、J-GBF構成団体、企業等に広く活用してもらえよう、ウェブサイトにおいて公開・発信する。

## □ 令和6年度 取組内容

### ◆ 事業者の行動変容を促すための消費者の行動変容調査

・認証商品購入等、消費者の行動変容がネイチャーポジティブに至る機序を示したロジックモデル作成業務（R5実施）得た結果をもとに実際の店舗にて介入策を実施する。

### ◆ 生物多様性に係る行動変容に関する取組事例の共有

・生物多様性に資する取組を行っている（行動を促している）活動の事例を共有・研究。  
⇒WGでの事例発表の継続。  
※企業経由でない事例についても歓迎

### ◆ ナッジ等を活用した調査事業（環境省担当課と調整中）

（参考）

- ・就職活動×生物多様性 （R5）
- ・30by30ロゴマークを活用した支払い意思額の調査 （R4）



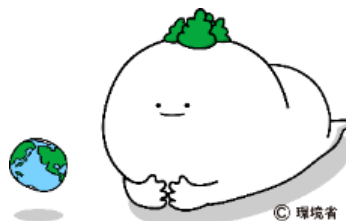
---

## 参加者の皆様へアンケート

---



© 環境省



© 環境省

「ネイチャーポジティブ」イメージキャラクター

だいだらぽじー

DAIDARAPOSIE

Slido アンケート参加

